

ねれかて

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

豊田市立平井小学校

校長だより

令和6年2月22日

子どもたちの学びや生活の様子を伝えます

卒業式まで16日となりました

3月19日は卒業式です。6年生の児童にとって、平井小学校で生活する日々は、16日となりました。

令和6年になって、ジャンボカルタ大会、やまびこ大縄大会など多くの思い出ができました。残された日々も後輩や仲間、先生とともに充実した日々を過ごすことができるとよいと思います。

卒業式に向けて、6年生の児童が残された平井小学校で生活する時間をどのように過ごすことができるかが大切です。今後は、卒業式までに送る会等で一人一人の児童が6年間の自分の成長を振り返る時間をもち「6年前の自分から成長したな」とか「平井小学校の6年間は楽しかったな」「先生や友達、後輩と一緒にいたいな」と感じられる場面を作ることができるとよいと思います。平井小学校の下級生全員で6年生を応援し、卒業生が未来に向かって元気に羽ばたけるようにします。

保護者の皆様、この1年間で6年生の児童は心も体も大きく成長しました。今後も、最上級生として精一杯頑張るお子さんの応援をよろしくお願いします。



やまびこ大縄大会が行われました

2月15日（木）にやまびこ大縄大会が行われました。ふれあいの時間に練習を積み重ね、当日はどのやまびこ班も協力しながら、声を出し元気に大縄を跳びました。今回の場面でも、6年生がはじめの言葉や司会、平井体操を行う姿に最高学年としての頼もしさを感じました。

令和5年度のやまびこ大縄大会の最高記録は484回でした。練習を重ね、学年を超えて協力することによって得られるよい思い出がまたひとつ平井小学校の子どもたちの心に残りました。



学習に取り組む子どもたち(算数)



2年生の算数の授業では、**九九の表から乗法のきまりを子どもたちが進んで見つけよう**と意欲的に学習しています。また、九九の表から同じ答えの情報を見つけることができた児童が**積極的に発言をしている姿**が見られました。このように子どもたちの主体的に取り組む活動を取り入れながら学習を進めることによって、乗法のよさを知り、習得した乗法九九を**日常生活やその他の学習で活用することができるようになります**。「かけ算九九」として暗唱することも今後の算数の理解を進めるための大切な学習ですが、子ども同士の協働を通じて自己の考えを広げ深める活動も未来を生きる子どもたちには必要な力となります。今後も、身近な生活体験などと結び付ける指導方法を工夫し、児童自らが調べ数量関係に気付き数の見方を豊かにすることができるような取組へとつなげていきます。

読書に親しむ子どもたち



本に触れる機会を設け、子どもたちが読書に親しめるようにするために、本校では6月と11月に**読書週間の期間**を設けています。内容は、本を2冊借りると、スタンプカードにスタンプをもらい、スタンプがたまると2冊借りることができるチケット（図書委員が製作）をプレゼントしています。また、現在は本を借りるごとにシールを雪だるまに貼り**子どもたちの読書への意識を高める活動**を行っています。

先日、廊下で話をしていると、3年生の児童が自分が楽しみにしている本のことと詳しく紹介してくれました。読書を通じて、**子どもたちには、読解力や想像力、思考力、表現力等が養われ、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したり**することができるようになります。また、文学作品や自然科学・社会科学関係など様々な内容の図書を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心が育まれます。

平井小学校では、今後も読書で培われる力を育むために、**子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ読書体験を深める**ような機会を提供し、そのための環境作りに努めています。